

原木需給情報システム開発事業関連海外情報

No. 8, 14 June 2013



米加丸太製材品輸出先近年の変遷

1. 北米市場・マクロ経済の概観

米国の住宅市場は、全面的に回復したように見えるが、最近の住宅関係データを見ると、なお克服すべき障害も見受けられる。

2012年12月、中古家屋の販売や価格はじりじりと上昇し、売り出し中の家屋の在庫は減り、新しく売り出す家屋の数量は増加した。中古家屋、抵当流れ処分にされた家屋および銀行が所有する家屋(REO)を購入しているのは、引き続き、主として個人投資家であるし、また、初めて家屋を購入する者の数は、これまでの平均を上回っている。

建築着工は、12月には54か月ぶりの高水準にまで上昇し始めた。着工は、年換算954,000戸で、前月比12%、前年比37%上昇した。これは、2008年6月以来の最高水準である。2012年全体を見ると、着工は、テキサスやカロライナにおける建築ブームと、多重ユニット集合住宅の建築の立ち直りにより、2011年と比較して28%上昇した。

しかしながら中古住宅販売戸数は、12月にわずかに下がった。販売は1%落ち、494万戸になったが、これでもまだ2009年11月以来2番目の高水準で、前年より13%上昇した。よいニュースは、「困窮者」の家屋の販売(抵当流れと任意売却)の売上全体に占めるシェアが下降傾向を示していることである。困窮者の家屋の販売を除く「従来型」の家屋の販売は、12月には前年より26%上昇した。契約不履行と抵当流れの率は、一定のままである。12月には、住宅ローンの10.61%が契約不履行か抵当流れで、11月の10.63%からはわずかに下がった。契約不履行と抵当流れの率は、ここ4年で最低のレベルにある。

米国の住宅市場のこのところの見通しは、大きな変化がないままで、住宅産業がしっかりした復興をするためには、現時点において、次のようなあまりにも多くの冴えない要因が潜在的に残されている。

- ・ 消費者の信頼感 … 現在減少しつつあり、報告されている大部分の信頼感は、脆弱なものである。
- ・ 給料の良い仕事の欠落
- ・ 低迷した景気
- ・ 毎年の家計実収入の中央値の下降
- ・ 厳しい住宅ローンの与信基準
- ・ 今後実施される新しい銀行規制

米国の住宅市場は、2015～2020 年の間に力強く成長することが期待されている。重要な経済的要因は、新しいエネルギー源が採掘され、米国のエネルギー自給が増加していることである。このことが米国の住宅生産の復活を呼び込み、将来、望むらくは「(価格の) 上下運動」をいくらか軽減して欲しいものである。

季刊誌・Wood Resources Quarterly によれば、針葉樹製材品の世界貿易は、主な製材品消費国が輸入を減らしたことに伴い、2012 年には概算 2.5%ダウンしている。

2. 主力市場における米国産針葉樹丸太及び製材品の輸出

2012 年 1 年間で、米国の製材品の生産は改善し、1～11 月の生産量は、2011 年の同時期よりも 8%増加した。

中国と韓国のドラスティックな需要の減少により、2012 年の米国針葉樹の丸太の輸出は、2011 年の 16 億ドルから 13 億 US ドルまで 15%ダウンした。米国針葉樹製材品の輸出もまた、昨年から、金額で 7%以上下がり、約 9 億 6000 万 US ドル(360 万 m³)まで下がった。(下記の表を参照)。

米国の製材品および丸太の最大の海外市場である中国は、米国の針葉樹丸太と製材品の全輸出額のほぼ 40%を占めている。中国の建設熱の減速は、米国の針葉樹製材品と丸太の輸出にかなりのマイナスの影響を与え、2012 年には数量、金額の両面で激減していることが報告されている。シベリアのすさまじいボリュームの材木により、ロシアは、世界の林産市場において恐ろしいほどの力がある。ロシアは中国の最大の針葉樹の供給者であり、ロシアの丸太輸出関税は北西部から中国への丸太輸出の急増の一因である。2007 年、ロシアは、国内供給を増やし、国内の加工業者にもっと多くの材木生産を促すことを目的として丸太の出荷品に 25%の関税を課した。この政策は、ロシアの材木の収穫を抑圧し、伐採作業の喪失に帰着し、さらに中国のバイヤーに供給者としてのロシアに対する信頼性を警戒させるに至った。

ロシアは、2012 年の初めに、世界貿易機構(WTO)への加入を獲得するために丸太にかかる関税を引き下げた。北西部からの丸太と同様の市場に出荷される丸

太の現在の関税率は、13～15%である。しかしながらこの変更は、中国の丸太バイヤーの心境に影響を与えそうにはない。彼等は、ロシア政府のやり方は曖昧であるとして、ニュージーランドや太平洋北西部の国々を始めとして、供給源となる国々を多様化させたがっている。

産業専門家によれば、中国政府が経済は刺激を必要と感じれば、国内供給の不足により中国の丸太（特に高い等級の製材品）の需要が2013年には改善するものと予想される。中国の針葉樹製材品の輸入は、2012年は2011年によりもはるかに少なかった。しかしながら、2012年末に向けて、住宅や製材品に対する需要は上昇し、第4四半期の輸入は2012年第3四半期から7%上昇した。

米国 針葉樹 丸太 輸出量(m³)

相手国	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	12/2011	12/2012	変化率%
中国	255,870	400,815	836,234	3,093,663	5,749,373	5,749,373	4,268,211	- 25
カナダ	3,345,591	2,700,706	3,030,992	2,881,541	2,522,649	2,522,649	2,487,897	- 1
日本	2,495,141	2,685,858	1,949,523	1,896,124	2,042,786	2,042,786	2,088,303	2
韓国	1,199,778	1,533,027	1,326,313	1,276,065	1,256,071	1,256,071	823,230	- 34

3. 日本を含む主要市場へのカナダ産針葉樹丸太及び製材品の輸出

2013年のカナダからの針葉樹の輸出は、米国と中国がともに需要が増えるものと期待され、このことが2012年よりも75%増の総輸出に結びつくため、上向きである。カナダの針葉樹丸太の輸出の約3分の2は米国向けであるが、2012年の減少や2011年の前年同という水準の後、アメリカの段階的な住宅熱の回復のおかげで製材品を含む建築資材への意欲が刺激され、2013年には12%の増が期待される。1～10月の間、米国の市場への製材品の出荷量は、前年より約9%増加した。2013年には米国の住宅着工件数が40%上昇することが期待されことに促されて、製材品の輸出は29%もの急上昇が見込まれている。

2012年に需要が減退したとは言え、中国は、カナダ産針葉樹丸太輸出総額のほぼ半分を占め、カナダの針葉樹丸太の最大の海外買い手である。中国では、カナダの製材品は、主として、コンクリート型枠、胴縁、装飾、ドアや窓枠に使われている。2012年に中国は、総計290万m³の針葉樹丸太(2億8,200万USドル)を輸入したが、2011年に比べると、数量では2%アップしたものの、金額では9%ダウンした。中国のカナダからの針葉樹製材品の輸入は、2013年末までに加速し始めることが期待されている。世界で最も人口の多い国が巨大な都市化を図るために何百万もの家を構築し続けるからである。中国の輸入の成長は、新政府およびその住宅造りへの支援によって採用された開発プログラムに

促されるであろう。CIBC ワールド・マーケットの業界アナリストによれば、輸入は、カナダからの強い要求もあって、2013年と2015年の間に20%まで増加する可能性がある。

過去数年にわたる中国への丸太供給の最もドラマチックな変化は、ロシアからの輸出が少なくなり、ニュージーランドから輸入される丸太が急増したことである。ちょうど5年前には、中国は、ロシアから2,100万m³に及ぶ針葉樹丸太を輸入していたが、ニュージーランドからの輸入は、たった120万m³であった。2012年後半、この2か国はそれぞれ約480万m³を出荷した。

2012年第4四半期におけるニュージーランド産ラジアタパインの平均価格は、第3四半期から数ドル上がり、2011年第3四半期以降に見られた最高水準に達した。一方、ほとんどの他の樹種の平均価格は、2012年第4四半期には変化がなかった。

他方、中国の国産丸太の価格は上昇傾向を継続し、中国産モミ丸太の価格は、2011年第4四半期から2012年第4四半期までに13%上昇して最高値に達した。モンゴリアパイン、カラマツ、ポプラおよびカバのような良く使われている樹種の価格もまた、2012年第4四半期には過去最高価格であった。

カナダ 針葉樹 丸太 輸出量(m³)

相手国	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	12/2011	12/2012	変化率%
中国	100,353	200,856	387,661	1,135,185	2,816,808	2,816,808	2,872,592	1.98
韓国	420,050	338,306	554,321	751,254	1,102,729	1,102,729	876,023	-20.56
日本	1,076,137	1,232,071	1,087,284	1,340,343	1,023,365	1,023,365	1,286,504	25.71
米国	1,741,285	868,525	404,207	439,418	408,671	408,671	611,920	49.73

4. 米国産及びカナダ産の主な丸太及び製材品の価格

季刊誌ウッド・リソースによれば、世界の製材の価格インデックス(GSPI)は、5四半期連続して下がった後、2012年第4四半期には1.5%上昇し、83.52ドル/m³になった。2011年第2四半期の最高値から2012年第3四半期までは連続的に下がり、インデックスが1995年に確立されて以来、ギリ安の最長期間をマークした。丸太価格は、ほぼすべての地域において、米ドルベースで上がった。

去年の米国の製材品の価格の上昇には、きわめて注目すべきものがあった。2011年の終わりから2013年2月まで、サウザン・イエローパインの製材品の価格は、80%上昇した。

米国の建設資材の価格は、「Associated General Contractors of America」が2月20日に発表した新しい連邦統計数値の分析によれば、新しい住宅や、業務用ビルのリフォームで使用される部品的大幅な価格上昇に促されて、1月に高

値に動いた。

米国市場における製材品の価格指標

	2月22日の週	2月15日の週	1年前
ランダム・レングス 構造用製材品 複合価格*	\$ 415	\$ 408	\$ 284
KD 西部S-P-F #2&Btr 2x4 R/L 工場渡し価格	390	390	268
KD 東部S-P-F #1&2 2x4 R/L, 五大湖渡し価格	486	478	360
ダグラスファー・Std&Btr 2x4 R/L (ポートランド)	375	373	237
サイザンパイン(西部太平洋岸) #2 2x4 R/L	468	461	293
KD 太平洋岸ヘム・ファーStd&Btr 2x4 R/L	425	420	278
ボンデローサパイン (内陸部) #2&Btr 1x12 R/L	570	555	645

* 15の主要品目の加重平均

5. 米国とカナダからの広葉樹製材品の輸出

2012年、米国産広葉樹製材品の輸出は、合計255万m³（12億ドル以上）になり、2011年から数量で10%（金額で9%）アップした。2012年には、アジア向けの輸出が力強く成長した。中国だけで出荷が15%上昇した。その一方、ベトナムの購入額は、32%アップした。

一方、米国の熱帯広葉樹の輸入は、2012年に回復し続けた。また、年初から11月までの熱帯広葉樹製材の輸入は、2011年の同期間と比べて10%上昇した。11月の輸入は18,554m³で、10月に比べて22%ダウンした。イペ材の輸入は最も強い回復を示しており、年初から11月までの輸入量は、2011年の2倍以上であった。ジャトバ材とサペリ材の輸入もまた、成長した。その一方でスパニッシュシダー材とメランチ材の輸入は、前年から下降傾向にある。エクアドルは、バルサ材を含む広葉樹製材の最大のサプライヤーであり続け、2012年11月には米国に対し3,609m³出荷している。ブラジル産イペ材の輸出は、この前の夏には4,000m³以上に達したのだが、11月には、1,185m³にダウンした。カメルーン産サペリ材の出荷は比較的好調のまま、11月は1,748m³であった。

マレーシア産製材の米国への輸出は、主としてより高品質のクルイン材の出荷であったため、11月に増加し、1,855m³であった。ハードウッド・レポート誌は、アフリカマホガニー、南米からのサペリ材やスパニッシュシダー材の需要が好調だった旨報告している。

米国 広葉樹 製材品 輸出量(m³)

相手国	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	12/2011	12/2012	変化率%
世界	2,167,308	1,783,246	1,562,807	2,060,922	2,316,476	2,316,476	2,553,374	10.23
中国	419,902	357,727	410,094	628,721	862,954	862,954	970,225	12.43
カナダ	579,845	500,776	337,540	418,344	421,273	421,273	455,501	8.12
ベトナム	145,796	148,816	142,995	222,647	246,263	246,263	306,752	24.56
メキシコ	178,588	155,277	148,766	169,823	170,901	170,901	192,595	12.69
イタリア	191,909	141,027	116,633	158,884	115,117	115,117	80,263	-30.28

カナダ 広葉樹 製材品 輸出量(m³)

相手国	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	12/2011	12/2012	変化率%
世界	472,907	306,115	210,798	347,799	215,321	215,321	220,463	2.39
米国	325,560	211,909	152,116	169,523	140,263	140,263	149,705	6.73
中国	29,767	10,927	9,430	13,791	19,686	19,686	21,344	8.42
ベルギー	2,154	2,062	672	111,451	7,753	7,753	846	-89.09
日本	8,681	7,550	4,753	5,263	5,509	5,509	6,312	14.58
ドイツ	8,709	6,436	4,602	6,011	5,464	5,464	4,360	-20.20